



# 農業の用排水路及びため池への転落事故防止のための啓発ツール

## ■農業用ため池転落事故防止PR動画 【ため池に入るのは危険です（BUZZ MAFF）】



<BUZZ MAFF（ばずまふ）とは>

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力等を発信するプロジェクトです。

## 【ふしぎな森とため池のひみつ（全国土地改良事業団体連合会）】



QRコードより視聴いただけます。

## ■転落事故防止の啓発ポスター （全国土地改良事業団体連合会 作成）



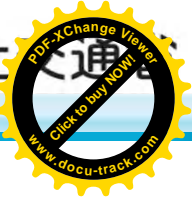
## ■【農業用水利施設の安全対策啓発ポスター】

全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）では農業用の用排水路やため池への転落事故防止を呼びかけるポスターを作成し、無償でデータ提供しています。



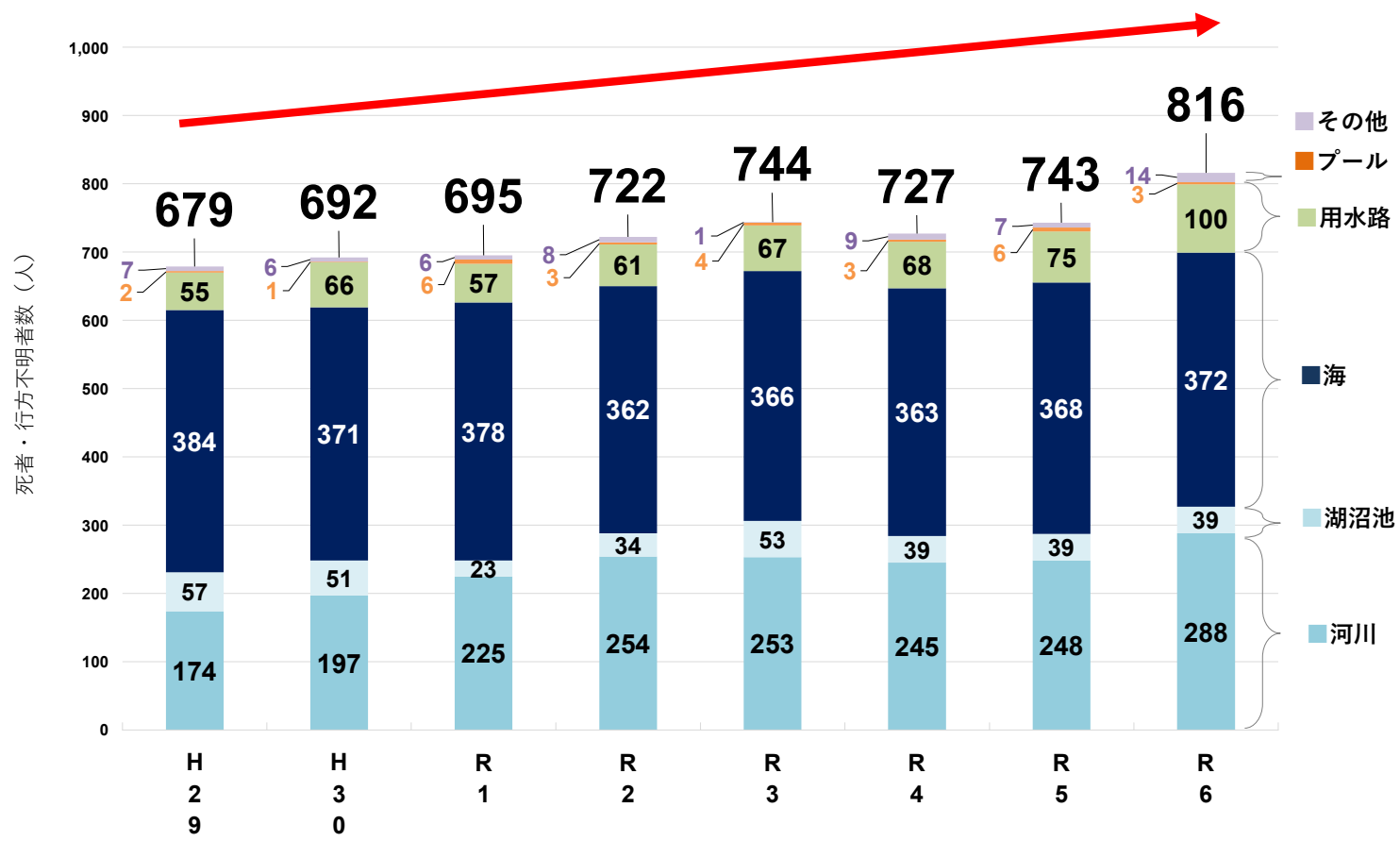


# 水難事故は増加傾向



## (全体) 水難事故による死者・行方不明者数は 近年増加傾向

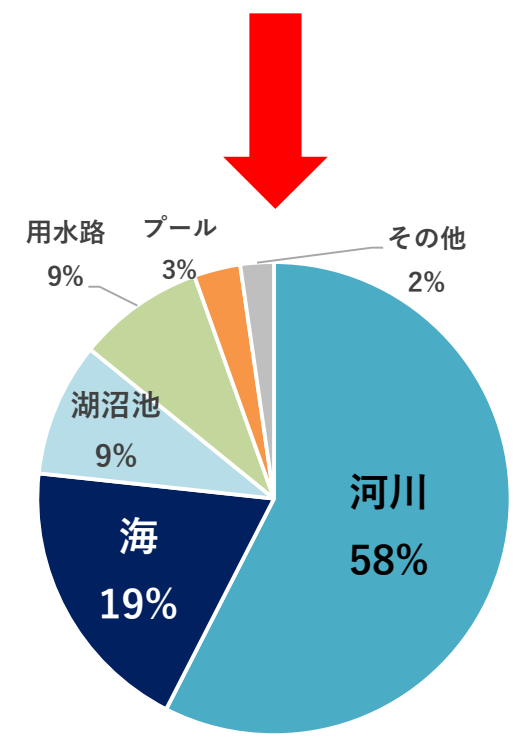
毎年600-900名程の人が犠牲となっており、  
河川はその3-4割を占める等増加傾向



場所別の死者・行方不明者数（総数）の推移

警察庁資料より河川財団作成（H15以降は「水難の概況」を参照）

## (中学生以下) 子どもは「河川」での 水難事故が最多



中学生以下の子どもの  
場所別死者・行方不明者数  
(H15-R6)

警察庁「水難の概況」より作成



# 川の河川水難事故防止に向けたポイント

## 子どもに知って欲しい3つのポイント (+引率者)

動画等でも見られる



河川水難事故防止に重要な、上位事項を整理

1



誰かと一緒に行く

川には思わぬ危険が隠れています。  
必ず複数人で行動しましょう。

知識・技能

2



上流の天気も確認

今いる場所が晴れていても、  
上流の雨で  
水かさが急が増えることがあります。

情報・場所

3

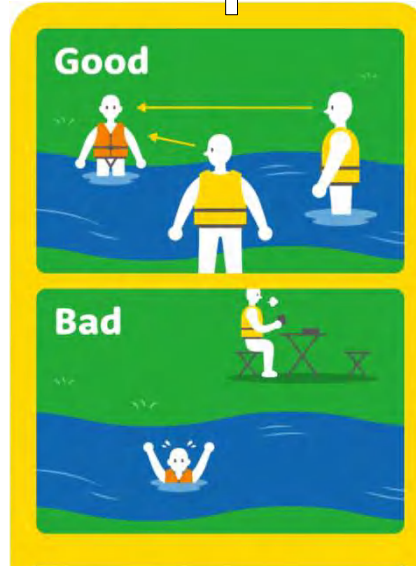


大人も子ども  
ライフジャケット着用

ライフジャケットは  
「川のシートベルト」です。

装備

4

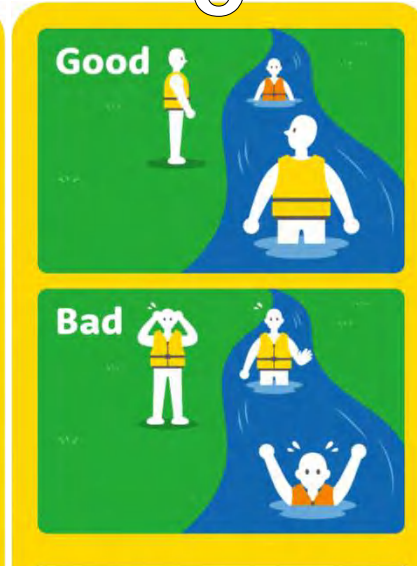


子どもから目を離さない

子どものすぐそばで  
見守りましょう。

知識・技能

5



大人は下流でスタンバイ

子どもより上流側にいると、  
流されたときに  
救助が間に合いません。

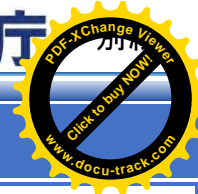
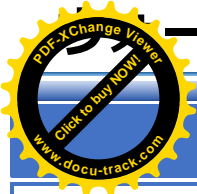
知識・技能



大人・子ども共通



引率の大人 (教員・保護者等)



# ウォーターセーフティガイドについて

## ウォーターセーフティガイドとは



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

以下の8つのマリンレジャーについて事故防止のための情報を取りまとめた総合安全情報Webサイトです。

- モーターボート
- カヌー
- 水上オートバイ
- スタンドアップパドルボード
- 遊泳
- ミニボート
- スノーケリング
- 釣り

16歳未満の事故者が多い「遊泳」について掲載内容の一部を紹介します。

詳しくは右の二次元コードからウォーターセーフティガイドをご覧ください。



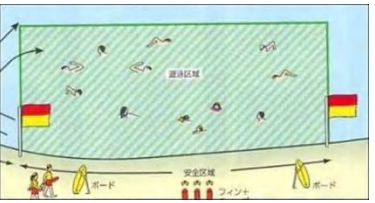
【二次元コード】

### 海で遊ぶときの注意

海はプールと違って、泳ぎが得意な方でも波や潮の流れにより溺れてしまうことがあります。

海水浴は、遊泳区域が旗やロープで示されており、ライフセーバーや監視員が居る開設された海水浴場で泳ぎましょう。

天気予報や自身の体調を確認するとともに、ライフジャケットや防水パック入り携帯電話などを持っていきましょう。



### 離岸流について

沖に向かって発生する強い流れに注意しましょう。離岸流はとても強い流れのため、一旦この流れに巻き込まれてしまうと、気がつかないうちに沖まで流されてしまい大変危険です。

沖に流された場合は、落ち着いて海岸と平行に泳いで離岸流から脱出しましょう。



### 子どもから離れない

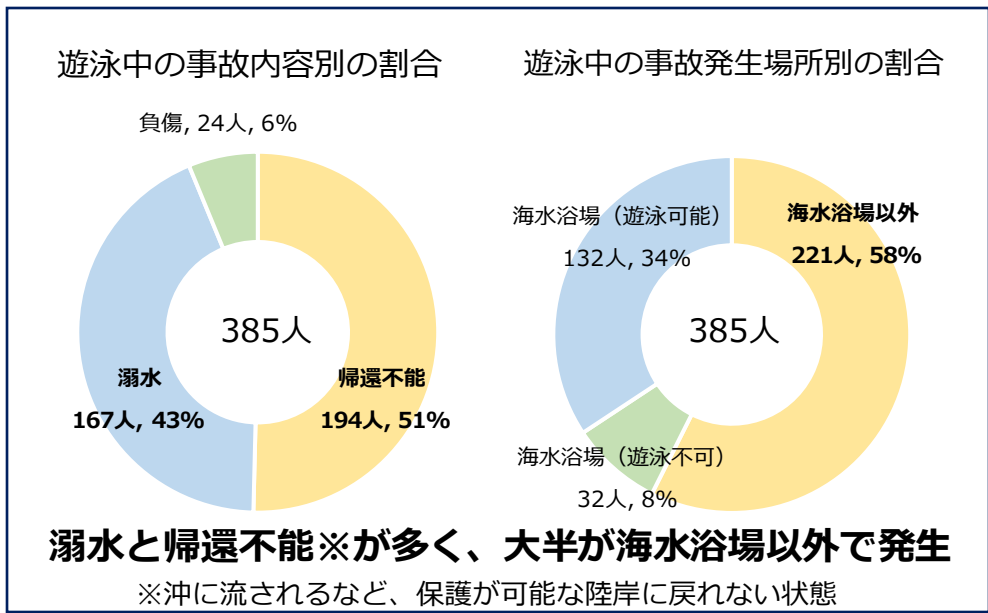
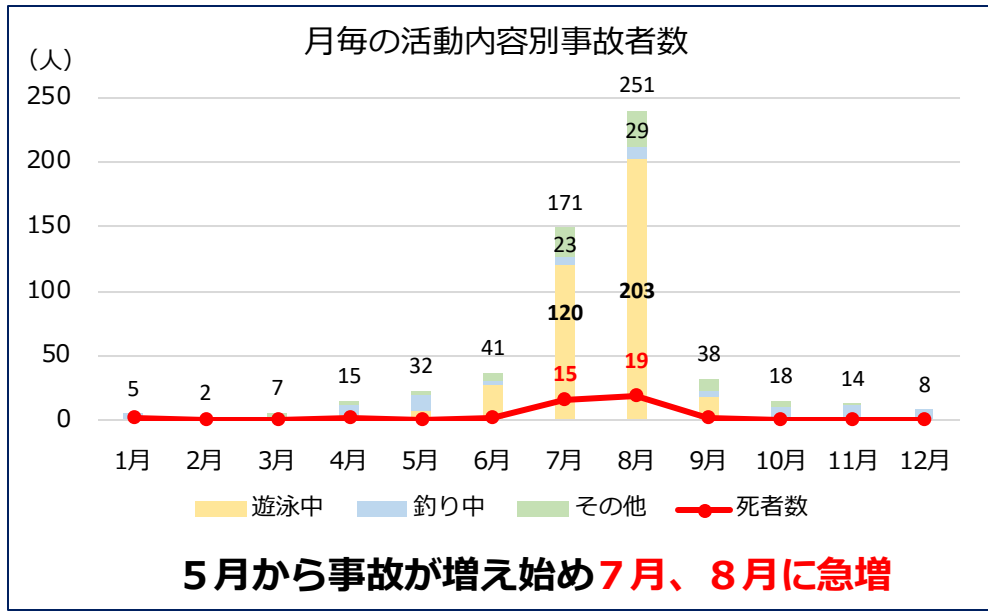
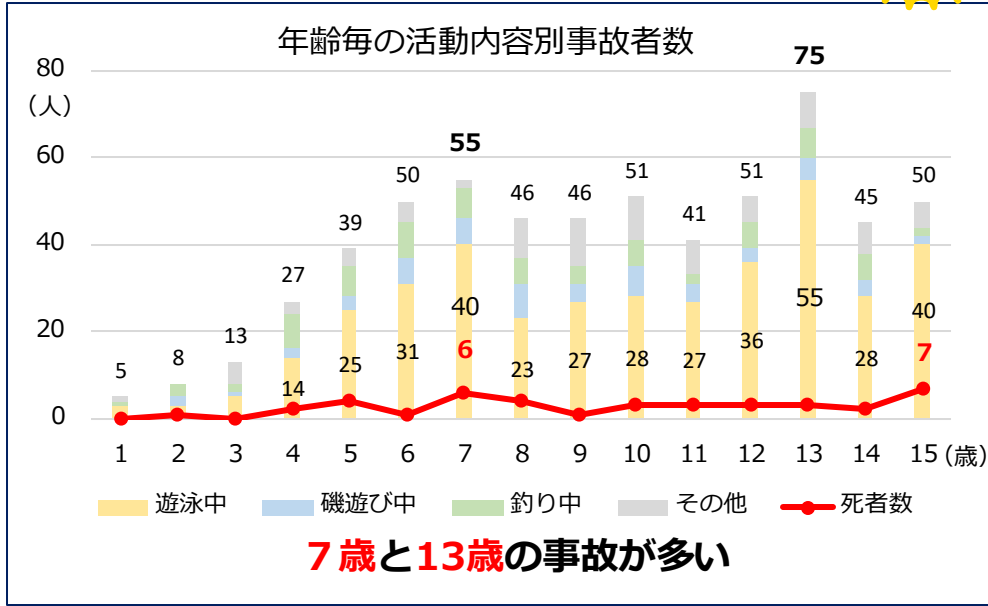
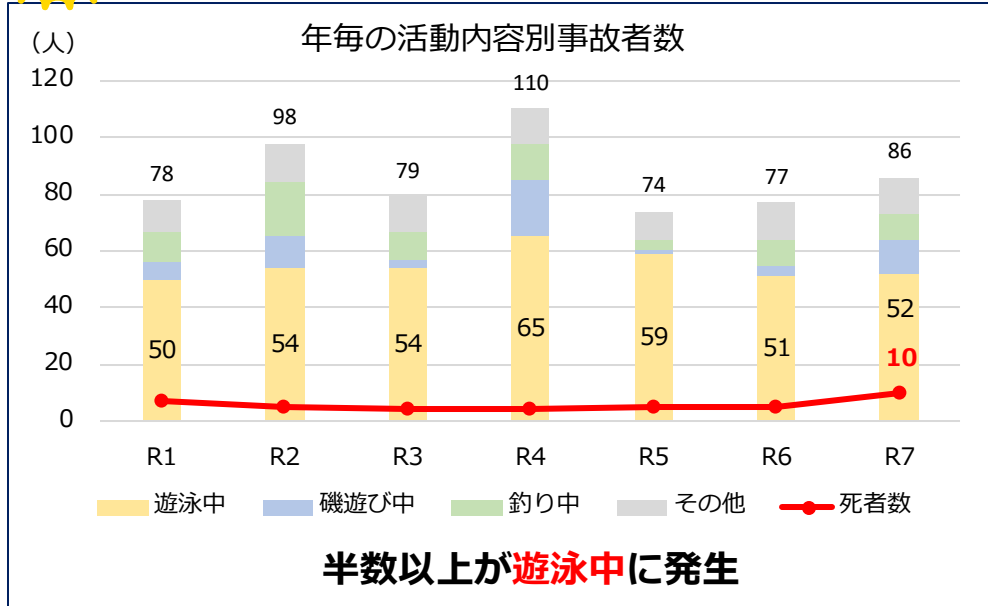
子どもは大人に比べ危険に対する判断ができません。思いがけず小さな波でも足をすくわれ、溺れることがありますので、保護者の方は、常に子どもから離れないようにしましょう。また、万が一に備えライフジャケットを着用させましょう。

水辺に子どものみでいるのを見かけたら、大人が注意するようにしましょう。

波打ち際でも、子どもが波にさらわれ沖に流される事故が発生しています。海に入っていないなくても油断は禁物です。



## 16歳未満の事故者状況（令和元年～令和7年）



## 海上保安庁の取組について



遊泳者への安全啓発活動



安全教室におけるライフジャケットの着用体験

## 事件事例の紹介

### 遊泳中に沖に流された事故

中学生が沖に向け遊泳していたところ、潮に流され戻れなくなりましたが、運よく付近の岩場に漂着し、通りかかったゴムボートに救助されました。



### 浮き具で遊んでいたら

#### 沖に流された事故

小学生の姉弟が波打ち際で大型浮き具に乗っていたところ、風の影響で沖に流されました。父親が助けようとするも追いつかず、その後、ボートにより救助されました。



### 保護者が目を離したときに

#### 溺れた事故

家族でスノーケリングをしていたところ、親が目を離した際に、小学生の子どもが海面を叩きながら溺れていました。父の救助が間に合い、病院に搬送されましたが、1週間の療養となりました。

